

## 学校法人金井学園 武徳殿 概要

### 1. デザインコンセプトについて

テーマ： 日本的モダニズム（線と面の二次元の構成）/Japanese Modernism (Line and Surface)

学園の正門から入り、中央コンコース最奥に位置する武徳殿。規制最大限に計画する建物は箱型による存在では周辺を圧倒してしまう。武道場にあたる部分は箱型に成ることは必然であるが、コンコースに張り出る諸室棟を軽やかにすることに注力し、デメリットの軽減を図ったデザイン。中学校側からの門に向けた面には表情のある有機的な質感で存在感を、正門側からは線構成のみで空虚感を表した。線の構成は一見単純ではあるが、細部の接点や大胆な突出加減に配慮した難易度の高い繊細な造りでありそこに面の表情が加わり、大きく二通りの視点で構成される。日本建築の機微、謙虚さを現代的意匠で表現。

### 2. 建物概要

- ・所在地 福井県福井市学園 3 丁目 601-1 他
- ・用途 学校（武道場）
- ・規模 地上 2 階建、延べ面積 2,632.71 m<sup>2</sup>、最高の高さ 14.6m
- ・主要室の仕様 柔道場（室面積 1,074.00 m<sup>2</sup>、天井高 5.0m）
  - ・柔道（10m×10m）4 面（553 畳）
 剣道・空手道場（室面積 1,023.88 m<sup>2</sup>、天井高 3.32～7.08m）
  - ・剣道（11m×11m）2 面
  - ・空手道（10m×10m）2 面

#### 《ご参考》県内外武道場の面積

福井県立武道館	柔道大道場	1,340 m <sup>2</sup> （4 面）（540 畳）
	剣道大道場	1,974 m <sup>2</sup> （6 面）
	多種目競技場	636 m <sup>2</sup> （空手道 2 面）
石川県立武道館	柔道場	919.59 m <sup>2</sup> （3 面）（391 畳）
	剣道場	938.92 m <sup>2</sup> （4 面）
県営富山武道館	柔道場	272 畳（2 面）
	剣道場	594 m <sup>2</sup> （3 面）

### 3. その他

- （設計管理） 株式会社木下設計 代表取締役 木下 賀之
- （デザイン監修） 丹尾デザイン事務所株式会社 代表取締役 丹尾 実紀也
- （施工） 株式会社見谷組 代表取締役 見谷 貞次

[工 期]	既存武徳殿等解体工事	平成 29 年 7 月～9 月
	新武徳殿建設工事	平成 29 年 10 月～平成 30 年 8 月



【柔道場】



【剣道場】



【空手道場】

